

本日のおもちかえり
2019年1月27日

1) 世の中で「天国」について話されることがありますが、どのように語られることが多いと思いますか。

2) ヘブル人への手紙11章13節—16節を読みましょう。「旅人」、「寄留者」という言葉からあなたはどんなイメージを持ちますか。

3) 私達はこの世にあっては「旅人」であり「寄留者」であり、私達には本当の故郷が用意されているということを自覚することは私達の日常生活にどんな影響を与えますか。

4) 詩篇39篇4節-7節を読みましょう。『わたしの一生はあなたの前では無にひとしいのです。まことに、すべての人はその盛んな時でも息にすぎません。まことに人は影のように、さまよいます。まことに彼らはむなしい事のために騒ぎまわるのです』という言葉は私達にどんな内省をうながしますか？

5) ローマ8章18節—25節を読みましょう。『今のこの時の苦しみは、やがてわたしたちに現されようとする栄光に比べると、言うに足りない』（18）。この言葉はこの世界で苦しみを感じている私達にどんな希望を与えてくれますか。ここに記されている「わたしたちに現されようとする栄光」とはどんなものだと思いますか。

6) 『わたしたちは、この望みによって救われているのである』（24）。この望みとは何ですか。

7) なぜ『目に見える望みは望みではない』（24）のですか。普段、私達が望みを置いていることは何ですか？それは本当に私達の希望となり得るものですか。